

グリーン・ツーリズムしんしのつ  
(農泊・教育旅行)  
石狩振興局

## 【協議会の特徴・理念】

都会に住む小・中・高校生等を対象にファームビジットやファームステイを通して、都会では味わえない自然や文化に触れてもらい、都市と農村の交流による地域活性化を目指している。

## 【地域の概要】

### ① 自然環境

石狩平野の中心部に位置し、しのつ湖では、夏はキャンプ、冬にはわかさぎ釣りが楽しめる。



### ②人口

新篠津村：3,101人（H31）

### ③主な産業

#### ●農業

水稻主産地として道内でも有数の経営規模を誇り、小麦や豆類の土地利用型作物や野菜・花きを取り入れた複合経営も展開している。



### ④イベント等

新しのつ青空まつり等



## 【協議会の概要】

### ① 設立年

2011年（平成23年）

### ② 構成員・代表者（又は団体）

会長1名、副会長4名（うち女性2名）、  
監事2名、会員25名  
事務局（新篠津村農業振興センター）

### ③協議会設立の経緯（きっかけ）

農業体験（ファームビジットやファームステイ）の受入に関心を持っていた指導農業士会のもとに、隣町から村を通して修学旅行生の受入の呼びかけがあり、「地域活性化のためにやってみよう」と農業者、新篠津村、JA新しのつが三者一体となり会を発足。

受け入れることで、都市と農業との交流により、地域が元気になる、新篠津村の生産現場をPRできる活動を目指している。

### ④活動内容

- ・農家体験（学生のファームステイ等体験）
- ・視察研修・交流会（会員の人材育成）
- ・女子会（受入農家の女性での研修会）

### ⑤現在の課題

学校等からの受入要望は多いが、受ける側としては高齢化や若い受入農家が増えない状況である。

しかし、農村部を知らない人達に少しでもPRし、知ってもらい大きな意味での仲間づくりを進めるため、ファームステイ等場所など新規取組者の発掘を行っている。

## 【主なコンテンツの種類及び実績（過去3カ年程度）】

### ①高校生の宿泊者数等（人、戸）

年度	校数	受入人数	のべ受入農家数
H29	11 (9)	127 (41)	32 (10)
H30	10 (0)	136 (0)	31 (0)
R1(H31)	8 (1)	149 (43)	36 (11)

※上記()は「ファームビジット（日帰り）」

### ②小学生等の体験者数（人）

○田植え、稲刈り体験やそば打ち体験など

・H29～233人、・H30～64人、・R1～311人

### ③利用状況

#### 【利用形態】

・高校生（関西など道外）のファームステイや小学生（札幌市ほか）のファームビジットを中心に、ホクレン農感塾なども受け入れ

#### 【利用者の声】

・会員研修や女性研修による受入農家体制の理解・協力体制のもと、今年10周年目を迎え、その間に体験に来た子ども達からは、「お米や野菜が美味しい」、「体験できてよかった」などの声や手紙をいただいている。

## 【特徴的な取組】



### < 学生向け農業体験（ファームビジットやファームステイ） >

- 北海道の首都圏（札幌市等）、空の窓口（千歳空港）からも近く、広大に広がる田園風景のもと、地域の農家（指導農業士など）で農村暮らし「衣・食・住」を体験できる。
- 毎年、道外からも学生を100名以上教育旅行として受け入れており、季節を感じながら地域資源である「農」を知ることができる。

### < 体験受入 >

- 都市と農村の交流を主目的に、年間を通して季節に応じた体験メニュー（野菜の定植、除草、収穫、そば打ち、天体観測など）で未就学児、小学生、高校生、一般の方を幅広く受入。
- 体験しやすい作物（トマトやイモ）なども考えて工夫し、気配り。

### < 体制 >

- 自然と共に働く農家お父さんのほか、独自の視察や各種研修会を実施する経験豊富な農村の女性が温かく体験をサポート。
- ファームステイなど受入を行うには、女性達の「理解・協力・意見」が重要であるため、毎年、先進地等での研修会を実施。

## 【連絡先】

代表窓口：グリーン・ツーリズムしんしのつ

（事務局 新篠津村農業振興センター 担当 青柳氏 TEL：0126-58-3611）